様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

豊川駅周辺地区

令和元年10月

愛知県豊川市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	豊川駅周辺地区			面積	208ha
交付期間	平成27年度　～　令和元年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	1,131	国費率	0.40		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（街路）：（都）豊川牧野線、公園：三明公園、高質空間形成施設（緑化施設等）：豊川牧野線、土地区画整理事業：豊川駅東土地区画整理事業
	提案事業	地域創造支援事業（安心・安全事業）：豊川駅周辺地区、事業活用調査（事業効果分析調査）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	道路（街路）：（都）豊川牧野線、高質空間形成施設（緑化施設等）：豊川牧野線	整備区間の地権者との交渉が難航し、長期の時間を要するため、平成31年度の整備計画期間までに事業が完了することが困難であると判断したため。	当該変更により、「安心・安全分野に関する市民満足度の向上」への指標の影響がある。
	提案事業	－	－	－
新たに追加した事業	基幹事業	・地域生活基盤施設：豊川駅自転車駐車場 ・公園：2号公園	・事業計画の見直しにより追加 ・事業計画の見直しにより追加	当該変更により、「安心・安全分野に関する市民満足度の向上」への指標の影響がある。
	提案事業	－	－	－

交付期間の変更			
当　初	平成27年度～令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	－
変　更	なし		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	指標1	安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	+1.5	H25	+1.6	R3	+1.7	+1.7	○	あり		三明公園事業や豊川駅東土地区画整理事業、地域創造支援事業（安全・安心事業）の実施により、安全・安心な生活環境が整ってきている。今後、2号公園や豊川駅自転車駐車場の整備完了に伴い、更なる事業効果の発現によって地域住民の安全・安心分野に関する市民満足度が向上すると考えられる。	令和3年度
											なし			
	指標2	建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	+0.3	H25	+0.5	R3	+0.4	+0.5	○	あり		豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業等が進み、着実に良好な都市空間が形成されてきている。今後、2号公園や豊川駅自転車駐車場の整備完了に伴い、更なる事業効果の発現によって建設・整備分野に関する市民満足度が向上すると考えられる。	令和3年度
											なし			
	指標3	地区内人口	指数	−0.01	H25	+0.00	R1	−0.01	−0.01	△	あり		駅へのアクセス等利便性が高いこと、土地区画整理事業や公園事業を実施していることなどにより、良好な居住空間の整備が進みつつあるものの、難航者等により土地区画整理事業地内において事業の進捗が滞っている地区があることや、公園の整備が令和2年3月までを予定していること、居住に関する基盤整備施策が駅東側に集中していることなどから、整備効果の発現が限定的なものとなっており、計画に定める数値目標は未達成となる見込みである。 しかしながら、土地区画整理事業地内で順調に整備が進んでいる地区においては、新規住宅の建築が進められており、当該地区を含む小学校区では人口が増加していることから、一定の成果はあったものと考えられる。	令和3年度
											なし	●		
	指標4	歩行者交通量	人	60,648	H25	63,692	R1	57,063	50,321	△	あり		土地区画整理事業や公園事業により歩行空間の整備や滞在スペースの確保が進んだこと、地区西側に歴史的文化財が点在していることなど、賑わいを生み出す土台は整いつつあるものの、地元から要望の声が多い豊川牧野線の整備が計画期間内において実現しなかったことを始め、安全な歩行空間が整備されていない区間もあることから、計画に定める数値目標は未達成となる見込みである。 しかしながら、地区内の道路空間や公共駐車場を活用したイベントの開催日数が増加していたり、イベントの主催者である地元商店街振興組合の組合員数が増加しているなど、継続的に賑わいを生み出す地域の体制は向上していることから、一定の成果はあったものと考えられる。	令和2年度
											なし	●		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	市民定住意向の向上	%	76	H25			－	81			駅の東側において豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業が進み、良好な住環境が形成されてきている他、駅の西側においてリノベーション店舗の開店や新たなイベントの開催等といった活性化に向けた取り組みが進んでいる。このように、様々な魅力を有する地区になってきていること等が市民定住意向の向上につながったと考えられる。	－
	その他の数値指標2	豊川駅東土地区画整理事業地区内の増加戸数	戸	0	H27			－	155			駅からの利便性等が高い本地区において豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業等が進み、良好な都市基盤・都市空間が形成されてきている。これらの事業効果が継続的な新築住宅の着工につながっていると考えられる。	－
	その他の数値指標3	豊川駅・豊川稲荷駅における年間乗降客数	人	2,024,509	H26			－	2,157,725			本計画において、駅の東側で豊川駅東土地区画整理事業等により定住促進が進むとともに、駅の西側で新たな賑わいが創出されてきている。このような定住促進・賑わいの創出等が年間乗降客数の増加につながったと考えられる。	－
	その他の数値指標4	商店街振興組合の組合員数	店舗	75	H26			－	100			まちなか再生検討事業や、計画期間内に商店街振興組合が新たに1団体設立された等によりイベントを主催する組合の会員数が増加してきている。これらのことからまちづくりの機運が高まってきており、新たなイベントも開催され、にぎわいを生んでいる。継続的にイベントを実施していく土台作りができ、活性化に向けた取り組みが進んできている。組合員数の維持・増加は、これらの活動が効果的・持続的なものであることを示唆していると考えられる。	－
	その他の数値指標5	活性化に資するイベントの開催数	回/年	9	H26			－	18			まちなか再生検討事業等を実施し、まちづくりの主体となるプレーヤーの意見を踏まえながらハード整備やソフト事業を実施してきている。また、イベント支援事業で、行政が後方支援を行うことにより、新たなイベントが発生しやすい環境を作っている。そのような過程で事業を進めたことで、まちづくりの機運が高まり、市民主体による新たなイベント等が開催される状況に至ったと考えられる。	－

4）定性的な効果発現状況

公園の整備にあたり、市民参加のワークショップを開催し、整備を進める手順を踏んだことで、市民への公園への愛着度を高めることができた。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	事業の進捗状況の確認及び、指標の達成状況の確認	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も必要に応じて策定した計画に対してのモニタリングを実施し、効果的な計画の実施に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	三明公園、2号公園の整備に係るワークショップの実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた		市民と協働による維持管理体制の維持・強化を図る。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	市民団体等による新規イベントの実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた		引き続き、市民の活動団体との連携・支援を図る。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

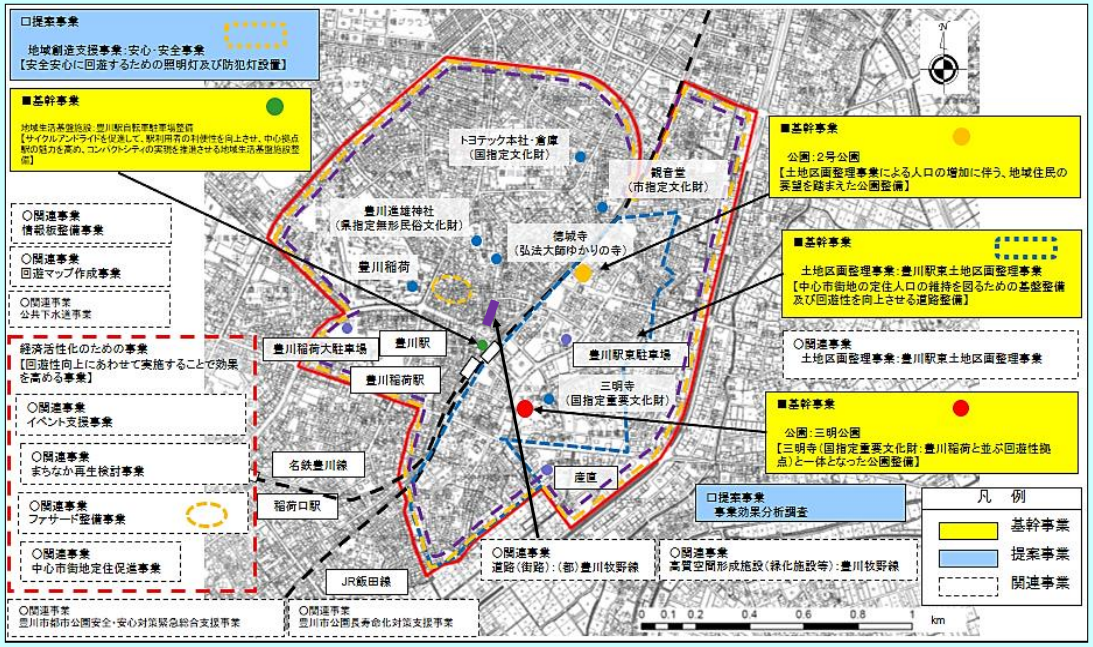
豊川駅周辺地区（愛知県豊川市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標　にぎわいのある安全で安心な住み続けられるコンパクトなまちづくり 目標1　コンパクトシティの推進：日本三大稲荷のひとつである豊川稲荷の門前町を含んだ中心市街地及び周辺地区の活性化による健やかで生き生きと暮らせる都市空間の形成 目標2　コンパクトシティの推進：魅力あふれる都市空間を形成し、生活環境を充実させ、中心市街地の人口定着を促進する	安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	+1.5	H25	+1.6	R3	+1.7	R3
	建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	+0.3	H25	+0.5	R3	+0.5	R3
	地区内人口	指数	−0.01	H25	+0.00	R1	−0.01	R2
	歩行者交通量	人	60,648	H25	63,692	R1	50,321	R1

安心・安全事業（照明灯・防犯灯）

2号公園

豊川駅東自転車駐車場



豊川駅東土地区画整理事業

三明公園

まちの課題の変化	・豊川駅東土地区画整理事業や三明公園事業等を着実に進めたことで、豊川駅の東側エリアにおいて安全・安心で良好な住宅地が形成されてきている。 ・豊川駅東土地区画整理事業や地域創造支援事業（安全・安心事業）の実施により、良好な宅地基盤に、計画期間中、毎年新規の居住者による立地が確認されるとともに、継続して建物の更新が図れてきている。 ・整備した近隣公園で、計画段階からワークショップを開催し、市民の意見を踏まえた公園整備に留意した結果、市民の公園に対する愛着が強まり、住民主体の維持管理体制が構築された。 ・豊川市立地適正化計画の策定、公表を行い、計画に基づくコンパクトシティの形成に努めた。 ・土地区画整理事業の施行エリアにおいて、安全安心な歩行空間・歩行動線の確保が図られた。 ・まちなか再生検討事業や、ファザード整備事業等を実施したことにより、来街者にとって魅力のある空間形成等が図られてきている。 ・イベント支援事業を継続的に実施してきたことによって、まちづくりの機運が高まり、市民主体による新たなイベント等が開催される状況に至った。 ■事業実施後の状況を踏まえた今後の課題 ・区画整理地内の一部において用地交渉が難航しており、事業が停滞している箇所がある。また、国府馬場線の渋滞解消を目的として、県において姫街道踏切のアンダーパス化を検討しているが、先行きは不透明である。この様な状況を踏まえ、良好な市街地を形成していくために、今後も基盤整備を進めていく必要がある。 ・区画整理地内においては、住宅が増加しているものの計画区域内の人口は減少傾向にあるため、更なる都市機能の集約を図り、中心拠点地域として魅力ある地域づくりを行う施策を展開する必要がある。 ・本市の中心市街地で非常に重要な位置にあり、歩行者のみならず自動車交通量も多い豊川牧野線において、安全安心な歩行空間の整備を行う必要がある。 ・まちづくりの機運が高まっており、市民主体の様々な動きがつくられ始めているが、安定的な来街者の回遊・賑わいを確保するために、安全な歩行空間が確保されていない区間を整備し、限定的な回遊を解消する必要がある。 ・新たに住民が転入してきている豊川駅土地区画整理事業地区内において、従前から地域に暮らす住民と新たな住民による地域コミュニティの醸成を図る必要がある。 ・新たなイベントが地域に定着していくように、行政、商店街、地域住民が三位一体となって、継続的に連携を取りながら活動していく必要がある。 ・転入者の定住を推進し、人口定着を促すため、住民ニーズを踏まえた都市基盤施設の整備を推進し、生活環境の充実を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・安全・安心な生活環境を更に強化するための市民意識の向上を図る。 ・良好な宅地基盤も活用しながら、定住人口の維持・増加を図る。 ・高まってきている市民のまちづくり機運を更に高めていくように、活動支援を継続する。 ・豊川牧野線の歩車分離の整備を進め、豊川駅からの安全安心な歩行者動線の確保を図る。 ・土地区画整理事業を施行した東側エリアのみならず、豊川駅周辺において、まちなか居住を推進する。 ・魅力的な空間・活動が形成・実施されてきている中心市街地において、市民と協働によるまちなか再生の検討と事業の実施を継続する。 ・住民のニーズを把握し、都市機能・生活機能のさらなる充実を図り、地区内人口の定着を図る。 ・長い年月をかけ磨かれてきた豊川稲荷・妙厳寺とその門前町に形成された街並みの歴史的価値を明確化し、それを中核にしたまちづくりを推進する。